申込方法

下記申込期間中に静岡市コールセンター（054-200-4894）にお申込下さい。（多数抽選）

申込期間　9月25日（水）～10月9日（水）8時～20時 年中無休

会場までのアクセス

静岡市民文化会館

静岡市葵区駿府町2番90号

電車でお越しの場合

- 東京駅・名古屋駅から東海道新幹線ひかり号でＪＲ静岡駅まで約1時間
- 新大阪駅から東海道新幹線ひかり号でＪＲ静岡駅まで約2時間
- ＪＲ静岡駅北口より徒歩25分・タクシーで10分。静鉄バス利用で10分（「市民文化会館入口」下車。バス停より徒歩1分）
- 静岡鉄道新静岡駅又は日吉町駅より徒歩10分

静岡駅からバスでお越しの場合

ＪＲ静岡駅北口バス乗り場より、下記の路線をご利用下さい。

【５番のりば】　こども病院線、唐瀬線、上足洗線
【６番のりば】　水梨東高線、竜爪山線、東部団地線、北街道線

静岡駅前 → 新静岡 → 市民文化会館入口（バス停より徒歩1分）

お車でお越しの場合

東名静岡ICより約25分

※お車でお越しの際は、静岡市民文化会館前駐車場又は近隣の駐車場をご利用下さい。

※なるべく公共の交通機関をご利用いただきますようご協力をお願い申し上げます。

朝鮮通信使関連事業

2019 10/13 日

興津駅→清見寺へ行列

11:00出発

朝鮮通信使再現行列　10/12（土）日韓文化交流・発信事業に参加した団体が参加します

［主催］NPO法人AYUドリーム

清見寺

朝鮮通信使と駿河の国代官との交流再現

12:00～ **国書交換式**　12:30～ **韓国伝統舞踊**　12:40～ **日本伝統音楽演奏**

［主催］NPO法人AYUドリーム

10:30～15:00 **日本茶道と韓国茶礼の饗宴**

2019 10/15 火

興津生涯学習交流館

朝鮮通信使講座　14:00～　定員：50名　参加費：無料

江戸幕府は鎖国なんてしていない　講 師：郷土史研究家　北村 欽哉 氏

［主催］静岡市

～日韓文化交流·発信事業～

朝鮮通信使がもたらした文化交流をその先へ

韓国みやげなどが当たる！
お楽しみ抽選会
開催

2019. 10. 12（土）　開場12:00～ 13:00～16:15

静岡市民文化会館 中ホール　［参加費］無 料　［定　員］700名　要申込

［主催］静岡市　［企画制作］朝鮮通信使静岡ネットワーク、公益財団法人静岡市文化振興財団
［協力］財団法人釜山文化財団　［お問合せ］静岡市歴史文化課（054-221-1085）

第1部 パネルディスカッション　13:00～

テーマ

朝鮮通信使から見る おもてなし料理とおもてなし方法

通信使へのおもてなし 安倍川餅 試食できます！

パネリスト ／ 島﨑 とみ子 氏、北村 欽哉 氏、野田 浩子 氏
コーディネーター ／ 小泉 達生 氏

パネリストのご紹介

パネリスト　島﨑（しまざき） とみ子（こ） 氏　女子栄養大学 名誉教授

朝鮮通信使の記録からみた日本のおもてなしについて

江戸時代の朝鮮通信使の来日には、訳官が同行し貴重な記録を残しています。朝鮮通信使からみた日本の対応について取り上げてみたいと思います。
江戸時代第七次（天和二）の『東槎日録』金指南著、若松實訳によると「凡ての接待にあっては、真心がこの上なく細かいところに至るまで便宜を提供してくれてその接待する食物は皆特殊な物であり、誠に言い表すことができない。」また日本に着いたばかりの対馬の対応は「早急に島主が奉行一人を送って三使の安否を尋ねた。毎日このようにして終始怠ることがなかった。」と健康状態にも気配りをしていたことが伺えます。

パネリスト　北村（きたむら） 欽哉（きんや） 氏　郷土史研究家

新井白石の駿府での特別接待

宿泊地での夕食は七五三膳で接待しましたが、新井白石は経費節約のため赤間関・大坂・京都・名護屋・駿府の五か所にとどめました。しかし駿府では安倍川で餅を出し、昼食地であるにもかかわらず五五三膳を出したのは徳川家康ゆかりの地であったためだと思われます。

パネリスト　野田（のだ） 浩子（ひろこ） 氏　郷土史研究家

彦根藩主 井伊直孝の指示した「陸路中第一」のおもてなし

将軍徳川家光の政務を補佐した井伊直孝は、彦根に通信使が宿泊するに際して、珍しい食材を取り寄せるなど入念な準備を家臣に指示しました。施設が「陸路中第一」と賞賛した彦根藩によるおもてなしの心を探ります。

寸劇　おもてなしの心～饗応料理の表と裏～

朝鮮通信使のおもてなしの心がどんなものであったか、劇で表現します。通信使の行列がどのようなものかお楽しみ下さい。

第2部 日韓文化交流公演　14:45～

出　演

1. 琉球伝統歌舞集団 琉神　（琉球伝統歌舞）
2. ブニエルエンジェルズ　（舞踊）
3. 静岡城内一輪車クラブ　（一輪車演技）
4. 創作演戯 THEヌム　（サムルノリ）
5. 釜山芸術団　（伝統音楽・舞踊）
6. フィナーレ　（日韓合同）

出演団体のご紹介

［ 韓 国 ］

ブニエルエンジェルズ（伝統舞踊）

ブニエルエンジェルズは、ブニエル芸術高校舞踊科の学生たちで構成されており、韓国固有の芸術である伝統舞踊の国内外多くの人々に向けた発信と、学生たちの様々な舞台経験と豊かな芸術活動のために作られた団体である。

創作演戯 THEヌム（サムルノリ）

“ドヌム”という言葉はパンソリ師たちの隠語で“弟子が師匠に学んだ音に自分の音を加え整え、新しく歌う部分”を指す言葉で、創作演戯THEヌムは伝統芸術を持続的に学習・継承し、現代的な感覚に発展させると同時に、新しい試みと奇抜な挑戦による独自の色を加えることで、伝統演技の未来を開いていく団体である。

釜山芸術団（伝統音楽・舞踊）

釜山芸術団は1984年、釜山農楽サムルノリで創設され、伝統文化継承、発展に努めてきた。2000年を迎え、若い伝統芸術人（舞踊、国楽）を中心に再構成された“釜山芸術団“の名で発足し、2009年には釜山広域市プロ芸術団体に指定され、その価値を認められた。
伝統音楽と伝統舞踊の特製と魅力を感じられるように構成し、完成度の高い作品を通じて観客が能動的に参加できるきっかけを作り、多くの人々が自然に韓国伝統の“興”と“粋”を感じられるステージを目指している。

［ 日 本 ］

琉球伝統歌舞集団 琉神（琉球伝統歌舞）

2001年沖縄にて誕生。その後「静岡」に拠点を移し、国内外に幅広く活動を展開。沖縄の民俗芸能を研鑽し、表現や理念「琉神」としての解釈を加えて舞台芸術にまで高め、静では凛とした空気感を、動では魂を揺さぶる躍動感で生きる力を呼び起こさせる。その舞台は本場沖縄の実力派アーティストの支持を受け、コンサート帯同・イベント共演など数多く果たす。

静岡城内一輪車クラブ（一輪車演技）

1997年発足。レース大会や演技大会に参加。また、地域のイベントなどにも積極的に参加し、一輪車の普及、振興に寄与してきた。世界大会にも参加し、数多くの世界チャンピオンを輩出している。2018年韓国、安山市で開催された世界大会（ＵＮＩＣＯＮ19）において、当クラブより21名が参加し、単独クラブでは世界最多の50個のメダルを獲得。